

2022年度 多久の炭鉱閉山50年プレ企画展

「炭坑用具と生活用具」展

立山炭鉱ボタ山『多久市史』より



| | |
|------|---|
| 主催 | 多久市郷土資料館・歴史民俗資料館 |
| 日時 | 令和4年4月23日(土)～10月10日(月) 午前9:00～午後4:00 |
| 休館日 | 月曜日(月曜が祝日の場合は火曜が休館日) |
| 場所 | 多久市郷土資料館 第3展示室 (多久市多久町1975番地 西溪公園内) |
| 電話 | 0952-75-3002 |
| 出品資料 | 炭坑用具と生活用具など50点 |
| その他 | 入場無料 |

多久の炭鉱閉山50年プレ企画展について

多久の最後の炭鉱が昭和47年11月に閉山され、50年を経過しました。この間、炭鉱の象徴でもあったボタ山に草木が覆い茂り、自然の山に戻り、炭鉱の記憶が薄れつつあります。

そこで、炭鉱が閉山し半世紀の節目を迎え、今回のプレ企画展では、昭和期の炭坑用具や当時の生活用具を展示することにより、多久の炭鉱時代を振り返ります。

また、多久市史に掲載された地図・写真や記述、国土地理院の空中写真、炭鉱関連年表を利用し、多久の炭鉱を概観します。

「炭坑用具と生活用具」展示資料一覧

※資料の説明については、展示室のキャプションを御覧ください。



ツルハシ



雁爪(ガンヅメ)



カキ板



水筒



つまぞうり わらじ



シュモク



鋸(のこぎり)



仕繰斧(しくりおの)



ヘルメット



キャップランプ付ヘルメット



検査ハンマー



ケンカキ



カンテラ



カーバイトカンテラ



ウルフ式安全燈



ウルフ式安全燈



石炭



手製スイッチ



電気雷管(段発式)



マイト込め棒



旭式電気発火器
三菱サンダー発火器



火薬野帳



爆薬の箱(蓋)



手桶(ておけ)



七輪(しちりん)



ヤカン



羽釜(はがま)



飯櫃(めしびつ)



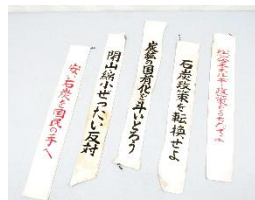
徳利(とっくり)



下駄(げた)



炭鉱の看板



組合運動のタスキ



組合の腕章・鉢巻



組合運動の旗